



いつも訪問する発電所はマニラの南東にあり車で4時間。

当初は苦痛に感じた日帰りの旅も、今ではごく自然に普通となった。

沿道の景色も、記憶としてしっかり頭に入ってきた。

ウトウト後の目覚めでも、ここが、どこであるか即座に分かるようになったから、たいした成長である。

どこにあっても同じように見えるフィリピンの片田舎の風景ではあるが、この写真の建物は、様相が異なる。

マニラから2時間ほど走り、サリラヤ（Sariraya）と呼ばれる市街地区にこの風景がある。

白い建物にベランダがつく典型的なコロニアル様式であり、周辺にも当時をしのばせる雰囲気漂う。

タヤバス湾に広がる海をのぞみ、望郷の念にかられたであろうスペイン貴婦人の姿がベランダに見えるようだ。